



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

## 風薫る季節の実りある活動に向けて

慌ただしかった新年度のスタートも無事に終わり、学校生活も順調に軌道に乗りつつあります。大型連休については、コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでのような過ごし方はできなかったかもしれませんが、家族と過ごす中で子ども達は4月の緊張感を和らげることが出来たと思います。これからは「目に青葉、山ほととぎす、初鯉」とあるように、爽やかな季節を迎えることとなります。各学年ごとに校外学習などに取り組んでいきますが、実りある活動になりますよう、子ども達の体調管理についてご家庭でのご指導をお願いします。

### 年度初めの「各種検査」

新年度のスタートを切るためには、様々な準備が必要となります。特に子ども達の体の健康を把握するため、5月末まで各種検診がぎっしりと詰まっています。「聴力検査」は3・5年生が対象ですが、子ども達も慣れてきているため「レシーバーを耳に当て、聞こえたらスイッチを押す」という一連の流れをスムーズに行いました。「聞こえ」については、なかなか本人が自覚できないこともあるので、日常生活の中でお子さんに声かけをして反応に違和感があつたら早めに受診するようお願いいたします。



### 朝の旗振り指導

子ども達の登校の安全を確保するために、PTA活動の一つとして教育研修部による「旗振り当番」があります。この日は、駅前交番のお巡りさんが一緒に子ども達の登校を見守ってくださりました。暑い日も寒い日も雨の日も子ども達の安全確保のため旗振りをしてくださる保護者の皆様に改めて感謝致します。また、「可能な限り巡回しますよ。」と言ってくくださるお巡りさん、ありがとうございます。



### みんな舞鶴の子「一年生を迎える会」

コロナ禍の中ですが、児童会が「一年生を迎える会」を三密を避けるため校庭で実施しました。児童会を中心に、1年生に送るメダルやカード、表紙の絵やアーチの花などを全校の子ども達が協力して作成しました。児童会の子ども達は、させられる動きではなく、自ら判断し行動していました。これは、全体の動きや自分の動線のイメージが出来ているから出来た行動だと思います。「させられる」から「する」へ、本校の子ども達の意識の高さに改めて感動した瞬間でした。本来ですと、1年生の手を引いて入場したいところですが、三密と接触を避けるため、6年生が寄り添って花のアーチをくぐっての入場となりました。会の中では、〇×クイズやジャンケン大会を行いました。どちらのゲームも分かりやすく短時間でありながら楽しむことが出来ました。また、舞鶴小の特徴を取り上げたり、終了時には拍手をしたりと、きめ細かに配慮が随所に見られました。終わりには、1年生へ手づくりのメダルが渡されましたが、首にかけてあげる瞬間、6年生からは、「仲良くしようね」など、声かけがありました。最後に1年生から「おにいさん、おねえさん、ありがとうございました。楽しかったです。」と呼びかけがありました。入学して1ヶ月、そこには、もう立派な舞鶴小学校の1年生の姿がありました。



## 実りあるPTA活動に「学年総会・PTA総会」

本来ですと、春はご家庭の様子を教えていただくため「家庭訪問」を行います。次に「授業参観」により子ども達の学校の様子を、「学年総会」で学年経営をご理解いただき、最終「PTA総会」で一年間のPTA活動を承認していただきます。この流れを通して、学校と保護者が子どもを軸として方向性を確認し、1年間がスタートしますが、コロナ禍のため授業参観は実施せず、学年総会とPTA総会のみの実施となりました。子ども達の健全な育成に向けて、お気づきの点がありましたら担任までご連絡ください。旧役員の皆様、1年間のご理解とご協力をありがとうございました。新役員の皆様、今年度一年間をよろしくお願いいたします。



## 実りある児童会活動に「児童総会」



コロナ禍であっても子ども達は児童会活動に取り組んでいます。児童総会は、5・6年生が体育館で、3・4年生は教室から Meet で参加しました。本年度の児童会のテーマは、「友達の輪でつくり出そう！絆・笑顔・思いやり 最高のチーム舞鶴」となりました。私達は年度初めに「子どもに寄り添い子どもと共にあゆむ」チーム舞鶴小の職能集団であることを確認しましたが、子ども達からも「チーム舞鶴」という言葉が出てきた

ことに驚きと嬉しさがわきました。子ども達にも伝えましたが、子ども達と教職員が一丸となって素敵な「舞鶴小学校」を創り上げていきたいと思いました。



## 実りある「修学旅行・林間学校」に向けて

5月11日から6年生は修学旅行に、20日から5年生は林間学校を実施します。実施に向けて保護者が密にならないよう5年生はオンラインで、6年生は体育館で学年総会の前にそれぞれ説明会を行いました。全員で「行ってきます」が言えるよう、ご家族揃って健康管理をお願いします。



## 地域に見守られ「正の木まつり」

3日～5日までの3日間は、稲積神社で正の木まつりが行われました。相生地区青少年育成協の皆さんは、露店を運営する傍ら、子ども達の安全指導を行ってくださりました。様子を見ていた途中に子ども達から「校長先生」と声をかけられましたが、とても嬉しかったです。登校日「何か買ったの？」と尋ねると、「チョコバナナ」と嬉しそうに答えてくれました。コロナ禍で、18時までの開催時間のようでしたが、少しずつwithコロナにもなってきていると思いました。



## 6年生修学旅行

コロナ禍の中でしたが、感染症対策を万全にして、6年生は2泊3日の修学旅行に行きました。1日目の鎌倉散策では江ノ島水族館の後、見学場所ごとに分けられた6つのグループになって寺社等を巡り武家政治の歴史と文化を学びました。2日目の東京ディズニーランドでは、空想的な世界の中で友達との友情を深めたり、施設職員のホスピタリティを確かめたりしました。3日目の東京見学では、日本の首都の風景を東京タワーから眺めたり、政治の中心である国会議事堂を傍聴席から見学したり、科学技術の不思議さを体験したりしました。「百聞は一見にしかず」の諺通り、見学を通して子ども達は学校での学習を深めたと思います。どこの見学場所でも、子ども達はお互いに「大丈夫だよ」「みんな終わった？」など声を掛け合いながら、心と体を支え合って活動していました。テーマ「一致団結 最高の思い出を作る修学旅行！」の通り、子ども達の「思い遣る心」を再発見できた思い出に残る素敵な3日間でした。



HPには、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらをご覧ください。